

令和6年度

胎内市の学校教育



Education in Tainai city (2024)



築地小学校



築地中学校



乙中学校



きのと小学校



胎内小学校



黒川小学校



中条中学校



中条小学校

(令和7年8月運用開始予定)



黒川中学校

胎内市の小中学校は 地域とともに歩む学校づくり

に取り組みます!!

そのために「コミュニティ・スクール」を導入しています



コミュニティ・スクールとは?

学校運営協議会を設置し、学校と地域が目指す子どもの姿や教育活動の在り方を協議しながら学校運営を進める仕組みです。



学校

地域



中条小 朝の読み聞かせ



黒川中 学習支援ボランティア



きのと小 あいさつ運動



築地小中合同クリーン作戦in村松浜

- 今年の目指す子どもの姿はこれだ!!
- 目指す子どもの姿を実現するための活動は?!
- 学校評価をとおして、活動の改善を図ろう!!
- 地域の取組に学校も参加しよう!!
- 学校の取組を地域に発信しよう!!

市内小中学校の教育活動に興味がある、ボランティア等で学校に行ってみたい、という場合は、QRコードをご利用いただき、各校のホームページをご覧ください。



胎内市教育委員会



〔胎内市教育の基本理念〕

教育は人をつくり、地域をつくる崇高な営み



胎内市教育振興基本計画

健康な心身の醸成

1 スポーツや芸術・文化を楽しむ教育の推進

- ◆子どもの体力向上
- ◆生涯スポーツの推進
- ◆競技スポーツの振興
- ◆芸術・文化の振興

2 安全教育と健康教育の推進

- ◆防災教育の推進
- ◆健康教育の推進
- ◆食育の推進



豊かな人間性の確立

3 心豊かで広い心をもつ人材の育成

- ◆心豊かな人材の育成
- ◆家庭と地域が連携した社会性の育成
- ◆国際感覚を育む教育の実践
- ◆キャリア教育の推進



確かな学力の修得

4 学ぶ子どもの育成

- ◆学力向上への取組
- ◆学校運営の改善
- ◆特別支援教育の推進



ふるさとを誇りに思う人間の育成

5 ふるさとを学び、ふるさとをつくる教育の推進

- ◆ふるさと教育の推進
- ◆文化財の活用と保護

6 安全な教育環境の整備

- ◆安全・安心な教育環境の整備

7 活力あるコミュニティの形成

- ◆学びを通じたコミュニティの再構築
- ◆コミュニティ・スクールの充実



令和6年度 胎内市学校教育の重点

地域とともに歩む学校づくり

学力向上への取組

<成果目標>

- 「授業が分かる」と答える子どもの割合を90%以上にする。

- ◆少人数指導などによる個に応じた指導の充実
- ◆教員の指導力向上
- ◆家庭と連携した学習習慣の定着と生活習慣の改善
- ◆一人一人の教育的ニーズに応じた教育の充実
- ◆胎内市教育相談体系化連携事業の充実 *1

家庭と地域が連携した社会性の育成

<成果目標>

- 進んであいさつする子どもの割合を85%以上にする。
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と答える子どもの割合を75%以上にする(小学校5年生以上)。

- ◆毎月10日を「胎内市あいさつの日」とし、家庭・地域と連携したあいさつ運動の推進
- ◆地域学校協働本部を整備し、学校と家庭、地域が連携した各種取組の推進

キャリア教育の推進

<成果目標>

- 将来の夢や目標をもっている子どもとの割合を90%以上にする。

- ◆小・中9年間を見通した「ふるさとキャリア教育プラン」の推進
- ◆中学生の職場体験学習や「職ナビゲーション」の充実
- ◆「ふるさと体験学習」を中核とした郷土愛の育成

コミュニティ・スクールの充実

<成果目標>

- 学校運営協議会委員が「目指す子ども像」の具現化が図られたとする割合を80%以上にする。

- ◆学校と地域で課題・目標の共有
- ◆学校運営協議会と地域学校協働本部との連携・協働 *2
- ◆「社会に開かれた教育課程」の実現 *3

心豊かな人材の育成

<成果目標>

- 「いじめはどんなことがあってもいけない」と答える子どもの割合を100%にする。
- 「学校に行くのが楽しい」と答える子どもの割合を85%以上にする。

- ◆魅力ある学校・学級づくりの推進
- ◆道徳教育や人権教育、同和教育の充実
- ◆「学校いじめ防止基本方針」に基づいた確実な取組
- ◆いじめ見逃しゼロスクール集会の充実
- ◆不登校の未然防止、早期解決のための組織的対応
- ◆スクールカウンセラー等関係機関との連携

*1 胎内市教育相談体系化連携事業とは、子どもの健やかな成長、自立と社会参加を支援するために、学校・園や行政・関係機関等が連携しながら進める事業です。

*2 地域学校協働本部とは、地域コーディネーターや学校の担当者などが中核となり、地域の住民や団体など多くの方々の参画を得て、地域全体で子どもたちを育てようとする体制です。

*3 社会に開かれた教育課程とは、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会とが共有し、新しい時代に求められる資質・能力を育むために、これまで以上に学校が地域社会と連携・協働しながら教育活動等を進めていく計画です。

交流活動を進めます!

胎内市の小中学校では、互いに切磋琢磨し高め合うことをとおして、向上心や豊かな社会性、互いの違いを認め合う感性等を子どもたちが身に付けられるよう、学年間交流、市内外の学校間交流、地域との交流等、様々な「交流活動」を積極的に進めます。



令和5年度の交流活動

市内の学校間交流



【きのと小・黒川小】

外国語活動のオンライン交流会



【築地中・築地小】

小中合同いじめ見逃しゼロ
スクール集会



【黒川中・黒川小】

小中合同あいさつ運動



【築地小・ついじ保育園】

ついじ保育園の皆さんを招待
した児童会祭り

地域との交流



【胎内小】

「ホテル祭りワクワクマップ」
でピオトープを紹介



【中条中】

「拡大三八市」で、まちづくり
策を地域に提案



【黒川小】

地域との合同防災訓練と合同
防災教室

海外の学校との交流



【中条小】

インドネシアの小学校との
オンライン交流

海外文化との交流



【乙中】

ジンバブエ異文化音楽交流会

「交流活動」により、他校や地域のよさを知り、子ども同士が刺激し合って、向上心を高めることが期待できます。人間関係を豊かにすることができ、自分にはない視点を得て、新たな発想を生むこともできます。胎内市の子どもたちの『生きる力』を「交流活動」で育みます。

